

# 令和4年度

## 教員・教育担当者養成課程 介護コース 学生募集要項

- ❖ 厚生労働省通知に基づく介護教員講習会
- ❖ 教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定一般教育訓練講座

### <目次>

実践教育センターでの学び	P 1
実践教育センターの授業形式	P 2
カリキュラム	P 3
選考要領	P 7
合格者の選考	P 9
出願の手引き	P 10
出願書類の作成方法	P 12
出願様式	P 16
入学の手引き	P 22
個人情報の取扱方針	P 24
アクセスインフォメーション	P 25



公立大学法人

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

CENTER FOR PROFESSIONAL EDUCATION,  
KANAGAWA UNIVERSITY OF HUMAN SERVICES

## 実践教育センターの学び

### <概要>

神奈川県立保健福祉大学実践教育センターは、保健・医療・福祉の現任者の教育を目的とした教育機関です。平成15年4月、神奈川県立保健福祉大学の開学にあわせて設置されました。神奈川県立保健福祉大学では、「生涯にわたる継続教育の重視」を基本理念の一つとして掲げています。医療技術の高度化・専門化、保健・医療・福祉サービスの連携・総合化が求められる中、当センターが担う役割として、時代の変化に応じて、保健・医療・福祉を担う人材の資質の向上と充実が期待されています。

### <教育方針>

実践教育センターは、総合的なヒューマンサービスを担う保健・医療・福祉人材の育成を目指し、次の視点で現任者教育を実施しています。

- ◆ 職業倫理や人権意識を磨くなど、より深く人を理解するための高い教養を身につける。
- ◆ 保健・医療・福祉分野の多様化・複雑化するニーズに対応するための専門的な知識・技術の向上を図り、地域のリーダーとなる人材を育成する。
- ◆ 関連分野に関する幅広い知識や多職種との連携を实践できる能力の向上を図る。

### <教育の特徴>

#### 学び直しと実践の再構築による仕事に活かせるリカレント教育

これまでの経験を振り返ることにより、実践の意味付けをします。また、自分の専門性を深く洞察することで視野を広げ、価値の高い成果や達成感につながります。

本学の教員をはじめ、当該分野で活躍する一流の講師陣から学ぶことができます。

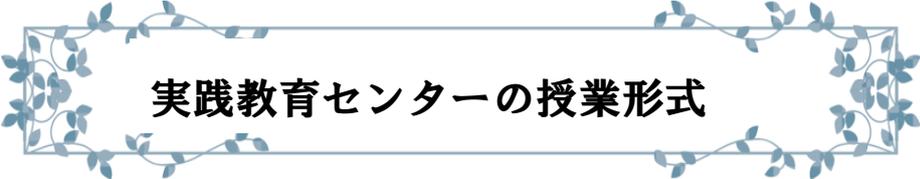
#### 専門職としてのネットワークの構築

多様な機関・立場の専門職とともに切磋琢磨しながら学ぶことができます。また、卒業後も、フォローアップ研修などを通して知見を共有し、同窓生のネットワークを広げることができます。

#### 充実した教育環境

働きながら学ぶ専門職への支援として、専任教員のチューター制による学習のサポートを受けられます。遠隔授業においても、事前のガイダンス等によるサポートがありますので、安心して受講できます。

図書室や文献検索システム、また横須賀キャンパスの図書館も利用できるほか、クラウド型教育支援システムなどを活用することができます。



## 実践教育センターの授業形式

### 1 授業形式

実践教育センターの授業形式は、働きながら学ぶ学生の支援と、教育効果が最大となるように、授業の内容に合わせて、対面授業または遠隔授業（リアルタイム配信・オンデマンド配信）を実施します。対面授業では、感染予防対策としてマスクの常時着用、ソーシャルディスタンス、登校時の検温など徹底した対策のもと、授業を行いますのでご協力をよろしくお願い致します。感染拡大等により、予定していた対面授業を実施できない場合は、遠隔授業に切り替えて授業をする場合があります。その場合は、速やかにお知らせします。

### 2 遠隔授業にあたっての事前準備

遠隔授業は、オンライン会議システム（Zoom 等）を用いて実施します。学生自身で、受講できる環境を整える必要があります。遠隔授業の準備として、以下のものを受講前に各自でご準備ください。

- ・インターネットに接続できるパソコン（カメラ・マイク内蔵がのぞましい）、プリンター
- ・カメラ、マイクが内蔵されていない場合は、Webカメラ、マイク
- ・必要に応じてイヤホン
- ・添付ファイルが送受信できるパソコンのEメールアドレスの設定

### 3 事前通信テストについて

オンライン授業にあたっては、事前に通信テストを実施し、通信環境を確認しています。通信テストには、授業に参加する時と同じ通信環境で、かつ授業で使用するパソコンを用いて必ず参加してください。詳細は、入学許可後に課程担当者からご連絡します。

### 4 その他

携帯電話の回線を使う場合は、データ使用量により利用料金（パケット通信料）が高額になることがあるのでご注意ください。

学生側の機器トラブル等により受講できなかった場合、補講等の対応はいたしませんので、ご了承ください。

ご自分のものではないパソコンを使用して授業に参加された場合、個人情報保護の観点から授業終了後は、データの削除をお願いします。

## 教員・教育担当者養成課程 介護コース カリキュラム

### 1 本コースの位置づけ

本コースでは、卒業に必要な必修科目が、厚生労働省規則等に定められた「介護教員講習会」修了に必要な要件を満たすため、卒業とともに介護教員講習会修了証を取得できます。

また、教育担当者として必要な人間理解を基盤とした幅広い知識や技術を学ぶことができます。

### 2 本コースの特徴

本コースでは、介護教員または施設等での教育担当者として必要な知識・技術を学びます。

(1) 平成30年度からの介護福祉士養成課程新カリキュラムに対応しているカリキュラムです。

(2) 教育内容は、次の5つの観点を重視しています。

- ① チームマネジメント能力を養うための教育内容の拡充
- ② 対象者の生活を地域で支えるための実践力の向上
- ③ 介護過程の実践力の向上
- ④ 認知症ケアの実践力の向上
- ⑤ 介護と医療の連携を踏まえた実践力の向上

(3) 授業での経験を振り返ることにより、教育者としての実践力に繋がります。

### 3 授業時間・日程と修了要件

#### (1) 授業時間・日程（予定）

	必修科目	選択科目
全科目	301.5時間※	13.5時間※
授業時期	令和4年4月～翌年3月	令和4年4月～翌年2月

※実践教育センターでは、1時間を45分として授業を実施しています。

そのため、実践教育センターでの授業時間は、必修科目402時間、選択科目18時間となります。

#### (2) 科目区分

必修科目：卒業するために必ず履修しなければならない科目です。

選択科目：卒業要件とは関わりなく、選択する科目です。

#### (3) 修了要件

介護教員講習会の修了には、必修科目の全科目について、当該科目授業時間数2/3以上の出席と学修結果の評価により、科目履修認定を得ることが必要です。

#### 4 カリキュラムの概要

##### 【教育目的】

介護教育に必要な知識・技術を習得し、豊かな人間性を養い、介護教育に貢献できる人材を育成する。

##### 【教育目標】

- 1 介護教育に必要な知識や技術を学び、効果的な教育活動を展開できる。
- 2 人間の本質に対する認識を深め、主体的に人間関係を展開できる。
- 3 介護の本質、介護福祉学の理念を探究し、介護福祉士の専門性を追究できる。
- 4 介護教育における研究の意義を理解し、実践の中で研究的態度がとれる。

##### 【教育内容】

(多少変更することがあります。)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
基礎	ヒューマンサービス論Ⅰ (必修)	2	・ヒューマンサービスとその理念	ヒューマンサービスとしての介護を実践するために、基本理念を学ぶ。
	ヒューマンサービス論Ⅱ (選択)	18	・ケアの本質 ・アサーティブネス・コミュニケーション ・多職種との学びによる相互理解	ヒューマンサービスとしての介護を実践するために、ケアの本質や対人関係における適切な自己表現のあり方を学ぶ。
	社会福祉学 (必修)	40	・社会福祉の意義と理念 ・日本における社会福祉の成り立ち ・地域における社会福祉の現状、課題、考察 ・今後の社会福祉の展望 ・多職種連携とチームマネジメントなど	近年の社会の動向をふまえ、社会福祉の意義、理念、基盤となる社会保障制度について学ぶとともに、地域における社会福祉を理解する。
	倫理学 (必修)	40	・倫理の概念 ・介護職としての倫理性 ・生命の始期・死期における倫理的な課題 ・介護実践における倫理的意思決定	倫理の基本的な概念を理解し、介護専門職として介護倫理の課題と解決の方向性や支援のあり方を考察する。
設定時間数 小計 100 (必修 82 / 選択 18)				

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
教育	教育原理 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等の関連性</li> <li>・教育の思想と歴史の変遷</li> <li>・教育の制度</li> <li>・教育の実践</li> <li>・生涯学習社会における教育の現状と課題</li> </ul>	教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等のかかわりについて理解するとともに、教育の思想や歴史、制度、実践等教育に関する基礎的な理論について理解する。さらに、生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。
	教育方法 (必修)	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方法の基礎的理論と実践の歴史</li> <li>・これからの教育方法のあり方</li> <li>・教育方法の原理と実践技術</li> <li>・授業の目標と授業展開のあり方</li> <li>・情報機器を活用した指導方法と適切な教材の作成、活用の仕方</li> <li>・具体的な指導案の書き方・作成</li> </ul>	これからの社会に求められる資質・能力を育成するために必要な教育方法、教育技術、情報機器及び機材の活用に関する基礎的な知識・技能を理解し、学んだことを教育現場にいかす態度と具体的な方法を身に付ける。
	教育心理 (必修)	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育心理学の理論と方法</li> <li>・教育と発達</li> <li>・学習の仕組みと学習の方法</li> <li>・学ぶ意欲</li> <li>・青年期の心理臨床的問題と支援</li> <li>・教師のメンタルヘルス</li> </ul>	学生の多様化に伴い、教育心理学視点からの学生理解、学習の仕組みと学習の方法及び青年期の心理臨床的問題への支援について学ぶ。また、自身のメンタルヘルスについても考えていく。
	教育評価 (必修)	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育評価の意義と役割</li> <li>・教育評価の視点と評価の方法</li> <li>・学習評価の方法と留意点</li> <li>・具体的な評価基準・評価規準の作成</li> </ul>	教育評価の概要(意義・目的等)や教育評価・学習評価の方法、統計を用いた教育評価の基礎等について理解し、学んだことを現場教育にいかす態度と具体的な方法を身に付ける。
	設定時間数 小計		120	(必修 120)

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専門	介護福祉学 (必修)	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の介護問題と介護福祉士の存在意義</li> <li>・時代が求める介護福祉士像と介護福祉士養成教育の変遷</li> <li>・介護福祉士の生活支援を支える人権・福祉理念</li> <li>・介護実践を支えるチームマネジメントと多職種連携・協働</li> <li>・地域を意識した生活支援の展開と地域包括ケア</li> </ul>	現代の介護問題と介護福祉士の存在意義を確認し、その社会的背景も視野に入れながら、求められる介護福祉士像と介護福祉士教育の歴史を踏まえ、今日の介護福祉士教育の目指すべき内容や課題を理解し、介護福祉学構築に向けての礎とする。
	介護教育方法 (必修)	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護教育の全体構造</li> <li>・教材研究の方法</li> <li>・授業設計と指導案の作成方法</li> <li>・模擬授業と授業改善の視点</li> <li>・修得度評価の方法</li> </ul>	各領域の目的、教育に含むべき事項、留意点等を理解し、介護教育の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解するとともに、様々な学習指導理論を踏まえて授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。
	学生指導・ カウンセリング (必修)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生指導の役割</li> <li>・学生の理解</li> <li>・学生指導にいかすカウンセリング</li> <li>・学生指導の実際</li> <li>・学内外の関係者との協働・連携の視点</li> </ul>	学生指導の目的を理解し、学生の成長を支援するカウンセリングの目的や方法等について学習する。

分野	科目名 (必修・選択の別)	時間	内容	ねらい
専門	介護実習指導方法 (必修)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護総合演習の役割</li> <li>・介護実習の意義と目的</li> <li>・介護実習への動機づけの方法</li> <li>・事例検討とカンファレンスの運営方法</li> <li>・スーパービジョンの方法</li> </ul>	実習の意義及び実習指導に当たる教員・実習指導者の役割を理解し、介護総合演習の目的と効果的な実習指導方法を学習する。
	介護過程の展開方法 (必修)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の意義と目的</li> <li>・介護過程の構造と構成要素</li> <li>・介護過程の展開におけるICF(国際生活機能分類)の視点</li> <li>・介護過程の実践的展開</li> </ul>	介護課程は、介護福祉の本質を具体化する過程であり、質の高い介護を実践し、利用者が望む「よりよい生活」「よりよい人生」の実現または継続を支援するために、包括的な視点から利用者を理解し、総合的に判断していける専門性に基づいた思考過程の確立と体系的な介護過程の展開方法を学習する。
	コミュニケーション技術 (必修)	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション技術の教育内容の役割表現工夫</li> <li>・コミュニケーション理論と実際</li> <li>・介護福祉士に求められるコミュニケーション</li> </ul>	コミュニケーション技術を教授する介護教員として、コミュニケーション技術の教育内容を知り、その展開方法を学ぶ。
	研究方法 (必修)	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉分野における研究と倫理</li> <li>・介護教員として求められる研究の重要性</li> <li>・研究の意義、研究の成果</li> <li>・研究の種類・方法・過程</li> <li>・研究計画の立案 など</li> </ul>	介護教員として求められる研究の意義について理解し、研究の方法と種類、進め方、発表方法等について修得する。
	設定時間数 小計 200 (必修 200)			
設定時間数 小計 420 (必修 402 / 選択 18)				

## 教員・教育担当者養成課程 介護コース 選考要領

募集人員	15名
開講期間等	令和4年4月～翌年3月、土曜日を含む週1～3日程度
出願資格	<p>次の(1)・(2)のいずれかの者であって、かつ、(3)の①～③のいずれかの要件を満たす者</p> <p>(1) 介護福祉士養成施設において、介護の領域を教授する専任教員を目指す者</p> <p>(2) 施設等の現場で介護教育の実践指導や現任教育を担当している者又はこれを目指す者</p> <p>(3) ① 介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士のいずれかの資格を有し、かつ常勤(週40時間勤務)換算で5年以上の実務経験※を有する者(実務経験年数は令和4年3月末現在(予定)とする)</p> <p>※1 介護福祉士、社会福祉士の実務経験の対象となる業務の範囲等は「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日付け社庶第29号厚生省社会局長・厚生省児童家庭局長連名通知)及び「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日付け社庶第30号厚生省社会局庶務課長・厚生省児童家庭局企画課長連名通知)に示された業務とする。</p> <p>※2 介護福祉士、社会福祉士の実務経験は国家資格取得前の実務経験を含む。</p> <p>② 学校教育法に基づく大学院、大学、短期大学、高等専門学校において、教授、准教授、助教又は講師として、その担当する教育に関し教授する資格を有する者</p> <p>③ 学校教育法に基づく専修学校の専門課程の教員として、その担当する教育に関し3年以上の経験を有する者(実務経験年数は令和4年3月末現在(予定)とする)</p>
出願書類	<p>(1) 出願書類リスト</p> <p>(2) 入学願書(様式1)</p> <p>(3) 受験票(様式2)・写真票(様式3)</p> <p>(4) 出願資格(3)の①～③のいずれかの要件を証明する書類                  出願資格①…資格を証明する免許証または登録証のコピー(A4サイズ)                  出願資格②…勤務証明書(様式4)※施設長印(私印不可)                  出願資格③…勤務証明書(様式5)※施設長印(私印不可)                  ※免許証等が現姓と異なる場合は、個人事項証明書(戸籍抄本)等、改姓されたことを証明できる書類を添付してください(書類は受験票返送の際に返却します)。</p> <p>(5) 入学検定料振込証明書                  (P10「出願の手引き」の「1 入学検定料の納付」の項目を参照)</p> <p>(6) 受験票返信用封筒(長形3号、返信先を明記し、84円切手を貼付)</p> <p>(7) 小論文  <b>【課題】</b>「介護(教育)実践をすることで、自己の課題を具体的にあげ、どのように解決しようとしているかを述べなさい。」</p> <p><b>[注意事項]</b>                  ※ 出願書類の作成方法については「出願書類の作成方法」P12～15をご覧ください。                  ※ 出願書類に不備がある場合は受理できないことがあります。ご注意ください。                  ※ 受理した出願書類は返還しません。</p>

出願期間	令和3年11月4日(木)～11月25日(木)(消印有効)		
入学検定料	8,800円(税込)		
選考方法	出願書類(小論文)、試験(面接)		
試験日程等	試験日	試験区分	時間
	令和4年1月13日(木)	面接	9:40～
	[試験会場] 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター(横浜市旭区中尾1-5-1) [持参するもの] 受験票、筆記用具		
合格発表	令和4年2月4日(金)午前9時		

## 合格者の選考

### <選考基準>

小論文（出願書類）及び面接は、以下の基準に沿って評価します。

#### 1 小論文

専門職としての経験に基づく問題意識や批判的考察が、客観的に表現されている。

#### 2 面接

学習意欲や継続性・社会性（積極性・堅実性・協調性）、表現力及び態度などが適切である。

### <配点>

区分	小論文	面接
配点	40点	60点

### <合格者の決定>

小論文（出願書類）及び面接の結果を総合的に判断して決定します。

\*\*\*\*\***出願の手引き**\*\*\*\*\*

1 入学検定料の納付

- 入学検定料は所定の振込依頼書に必要事項を記入し出願締切日までに金融機関の窓口で納付してください。（ゆうちょ銀行、郵便局からの振込はできません。）
- ATM（現金自動預払機）及びインターネットバンキングでの振込はしないでください。
- 振込手数料は出願者をご負担ください。
- 入学検定料振込依頼書の入手方法は次のとおりです。なお、振込依頼書は課程ごとの専用の様式になっていますので、必ず出願課程用の振込依頼書を使用してください。
- ①実践教育センターのホームページからダウンロードし印刷する。  
印刷の際は、必ず A4 サイズの白色無地の用紙を使用し、拡大、縮小せずに出力してください。また、印刷が不鮮明であったり、文字化けしていると金融機関で受付することができない場合がありますので、出力後に必ず確認してください。
- ②郵送により請求する。  
「教員・教育担当者養成課程介護コース 入学検定料振込依頼書希望」と明記し、長形3号の返信用封筒（84円切手を貼り、返信先を明記）を同封し、次の請求先へ送付してください。

【請求先】 〒241-0815 横浜市旭区中尾1-5-1  
神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 企画教務部

- 入学検定料を納付すると金融機関の収納印が押印された「振込証明書」と「振込金領収書」が戻されますので、「振込証明書」のみ出願書類に同封してください。

【振込依頼書見本】

**A票** (令和4年度入学用)  
令和4年度神奈川県立保健福祉大学実践教育センター入学検定料  
振込依頼書(取扱店保管)

※振込手数料はご依頼人負担

依頼日	年 月 日	振込指定	電信振	手数料	円
振込先	三井住友銀行 アオイ支店 普通預金 1448402		金額	¥	8,800
受取人 口座名	ダイカナガワケンリツホケンフクシダイガク		現金		
	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学		当手 枚		
			他手 枚		

取扱金融機関収納印

1

①太線内を打電してください。  
②収納印は1・2・3にもれなく正確に押印し、B・C票を依頼人にお返ください。

**B票** (令和4年度入学用)  
実践教育センター入学検定料  
振込金領収書(出願者保管)

※大切に保管してください。

依頼日	年 月 日	金額	円
振込先	三井住友銀行 アオイ支店 普通預金 1448402		¥8,800
受取人	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学		
出願課程	出願者	フリガナ	
		氏名	

上記のとおり領収しました。 手数料 円

取扱金融機関収納印

2

**C票** (令和4年度入学用)  
実践教育センター入学検定料  
振込証明書(センター提出用)

※出願書類に同封し提出してください。

依頼日	年 月 日	金額	円
振込先	三井住友銀行 アオイ支店 普通預金 1448402		¥8,800
受取人	公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学		
出願課程	出願者	フリガナ	
		氏名	

取扱金融機関収納印

3

- 納入された入学検定料は返還しません。  
※ただし、次の場合は本人の申出により返還しますので、お申出ください。
  - ・入学検定料納付後、出願書類を提出しなかった場合または出願書類が受理されなかった場合。
  - ・入学検定料を誤って二重に納付した場合。

## 2 出願書類の提出方法

- 出願書類を折らずに入れられる封筒（角形2号）に、出願課程（コース）名、出願者住所・氏名を明記し、令和3年11月4日（木）～11月25日（木）に次の出願先に必ず簡易書留で郵送してください。（締切日当日消印有効）

【出願先】 〒241-0815 横浜市旭区中尾1-5-1  
神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 実践教育部  
**教員・教育担当者養成課程（介護コース）入学願書在中（朱書き）**  
出願者住所・氏名

- 出願書類の作成方法について、詳しくは「出願書類の作成方法」P12～15をご覧ください。
- 出願書類に不備がある場合は受理できないことがありますので、ご注意ください。
- 受理した出願書類は返還しません。

## 3 受験票（様式2）の送付

- 受験票（様式2）は、出願期間締め切り後、出願者全員の書類を確認してから、出願の際にご提出いただく「受験票返信用封筒」（長形3号）に入れて返送します。
- 「受験票返信用封筒」提出の際は、返信先を明記し、84円切手を貼付してください。
- 受験票（様式2）には、受験番号を記載してお送りしますので、大切に保管してください。

## 4 合格発表

- 令和4年2月4日（金）午前9時、神奈川県立保健福祉大学実践教育センター入口に合格者の受験番号を掲示します。
- 実践教育センターホームページ（<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>）に、合格者の受験番号を発表します。受験番号をホームページに掲載することへの同意の有無を入学願書（様式1）に必ず記入してください。
- 可否は願書に記載の現住所に郵送で通知します。合格者には入学手続きに必要な書類を同封します。
- 電話による可否の問い合わせには応じられません。

## 5 選考結果の開示

選考結果を知りたい方は、口頭で開示請求ができます。

【開示する項目】 成績順位について開示します。

【開示請求者】 本人のみとします。請求にあたっては、受験票または本人であることを証明できるもの（運転免許証、健康保険証等）を提示してください。

【開示する期間】 令和4年2月4日（金）～3月4日（金）

【開示する場所】 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 2階 教職員室

## 6 その他

障害等により受験および修学・通学上、特別な配慮を必要とする場合は、事前にご相談ください。

## \*\*\*\*\*出願書類の作成方法\*\*\*\*\*

### ○ すべての様式について

- ・ 受験番号 の欄は、記入しないでください。
- ・ 氏名欄は、必ず戸籍のとおりに楷書ではっきりと記入してください。
- ・ 手書きの場合は、消すことができない黒ボールペンを使用してください。

### (1) 出願書類リスト

- ・ 出願書類を郵送する際に、このリストを必ず同封してください。
- ・ リストには氏名及び日中の連絡先(電話番号)を記入の上、同封する出願書類を確認後、  
＜提出書類・出願資格 確認欄＞に記載されている「同封確認」欄に✓をしてください。
- ・ また、出願資格についても確認の上、該当する項目の「資格確認」欄に✓をしてください。

### (2) 入学願書(様式1)

#### ① 年齢

- ・ 2022(令和4)年4月1日現在で記入してください。

#### ② 写真

- ・ 写真は上半身脱帽正面向き、縦3cm×横3cm(背景なし)で最近3か月以内に撮影したものとし、(スナップ写真は不可)
- ・ 写真の裏に氏名を記入して、のり付けしてください。

#### ③ 日中の連絡先

- ・ 携帯電話、勤務先等、日中連絡がとれる電話番号を記入してください。写真の裏に氏名を記入して、のり付けしてください。

#### ④ Eメールアドレス

- ・ パソコンからのメールが受信できるアドレスを記入してください。

#### ⑤ 出願時の勤務先

- ・ 出願時に勤務先のある方は、その名称・所在地を記入してください。
- ・ 勤務先において役職についている方はその職位を具体的に記入し、スタッフの場合は「なし」と記入してください。

【職位の例】介護課長、介護主任 等

#### ⑥ ホームページへの掲載

- ・ 合格発表の際、受験番号を実践教育センターホームページへ掲載することについての同意の有無を、□欄に✓をしてください。

#### ⑦ 志望の理由・学びたいこと

- ・ 入学を希望する理由・学びたいことについて、具体的に記入してください。

#### ⑧ 出願資格にかかる免許・資格

- ・出願資格にかかる免許・資格について、該当する資格に○をつけてください。
- ※出願資格の「5年以上の実務経験」とは、1つの資格で常勤換算5年以上のこと

⑨ 実務経験

- ・2022（令和4）年3月末現在（予定）まで記入してください。
- ・出願に必要な実務経験のみ記入してください。
- ・実務経験年月数が常勤（40時間勤務）換算で5年以上であることを確認してください。
- ・勤務形態は、「常勤」「非常勤」のどちらかに○をつけ、その年月数を記入してください。
- ・非常勤の勤務期間については、おおよそ週何時間程度かを記入し、常勤（40時間勤務）換算した年数を記入してください。

<常勤換算して経験年数を計算する方法>

例) 週24時間程度で3年0か月（36か月）勤務した場合

$$\Rightarrow 36 \times 0.6 (24/40) = 21 \text{ か月 (少数点以下切捨て)} = 1 \text{ 年 } 9 \text{ か月}$$

- ・育児休業、休職、長期研修などの期間は、実務経験年数には含みません。
- ・実務経験の対象となる業務は、「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」（昭和63年2月12日付け社庶第29号）を参照してください。

【記入例①】介護福祉士有資格者の場合

	期 間 実務年数	法人・会社名	所属名	担当職務
○ 常勤	(西暦) 2015年10月～2019年3月 ----- 3年6か月	社会福祉法人 ○○会	○○施設	生活支援員
非常勤	(西暦) 年 月～ 年 月 ----- (週 時間程度) 年 か月 ⇒ (常勤換算) 年 か月			
常勤	(西暦) 年 月～ 年 月 ----- 年 か月	○○株式会社	介護付き有料 老人ホーム ○○○○	介護職員
○ 非常勤	(西暦) 2019年4月～2022年3月 ----- (週 24時間程度) 3年0か月 ⇒ (常勤換算) 1年9か月			
実務経験年数 (通算) 5年3か月		※ 2022年3月末現在（予定）まで記入してください。		

※ 介護支援専門員は介護福祉士の実務経験の対象とはなりません。

【記入例②】社会福祉士有資格者の場合

	期 間 実務年数	法人・会社名	所属名	担当職務
常勤	(西暦) 2015年10月～2019年3月	社会福祉法人 〇〇会	〇〇 地域包括支援 センター	社会福祉士
	3年6か月			
非常勤	(西暦) 年 月～ 年 月			
	(週 時間程度) 年 か月 ⇒ (常勤換算) 年 か月			
常勤	(西暦) 年 月～ 年 月	医療法人 〇〇会	〇〇病院	相談員
	年 か月			
非常勤	(西暦) 2019年4月～2022年3月			
	(週 30 時間程度) 3年0か月 ⇒ (常勤換算) 2年3か月			
実務経験年数 (通算) 5年9か月		※ 2022年3月末現在 (予定) まで記入してください。		

※ 介護職員は社会福祉士の実務経験の対象とはなりません。

(3) 受験票 (様式2)・写真票 (様式3)

- ・ 受験票 (様式2) と写真票 (様式3) は切り離さず、それぞれに氏名・ふりがなを記入してください。
- ・ 写真は、入学願書 (様式1) と同じ写真を2枚用意し、それぞれ裏に氏名を記入し、のり付けしてください。

(4) 出願資格 (3) の①～③のいずれかの要件を証明する書類

① 資格を証明する免許証または登録証のコピー (A4サイズ)

- ・ 「出願資格 (3) の①」の方 (介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士のいずれかの資格を有する者) のみ提出してください。
- ・ 免許証等はA4に縮小してコピーしてください。免許証等の裏面に記載があれば、裏面もコピーしてください。
- ・ 再交付手続き中の場合は、次の書類を添付してください。

医師・保健師・助産師・看護師の免許証	保健所長が発行する証明書
社会福祉士・介護福祉士の登録証	再交付申請書 (登録年月日を明記) に社会福祉振興・試験センターの受領印を押印したもののコピー (手続き前に、社会福祉振興・試験センターに要問合せ。後日、登録証のコピーを提出)

② 勤務証明書（様式4）

- ・ 「出願資格（3）の②」の方（大学院、大学、短期大学、高等専門学校において、教授、准教授、助教又は講師として、その担当する教育に関し教授する資格を有する者）のみ提出してください。
- ・ その担当する教育とは、「社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（昭和62年厚生省令第50号）別表第四」の教育内容のうち、いずれかを指します。
- ・ 該当項目を○で囲み、必要事項を記入し、施設長印（私印不可）を押印してください。

③ 勤務証明書（様式5）

- ・ 「出願資格（3）の③」の方（専修学校の専門課程の教員として、その担当する教育に関し3年以上の経験を有する者）のみ提出してください。
- ・ その担当する教育とは、「社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則（昭和62年厚生省令第50号）別表第四」の教育内容のうち、いずれかを指します。
- ・ 必要事項を記入し、施設長印（私印不可）を押印してください。
- ・ 複数施設から証明が必要な場合は、様式をコピーして使用してください。

※免許証または登録証が現姓と異なる場合は、個人事項証明書（戸籍抄本）等、改姓されたことを証明できる書類を添付してください（書類は受験票返送の際に返却します）。

(5) 入学検定料振込証明書（必ず同封してください）

（P10「出願の手引き」の「1 入学検定料の納付」の項目を参照してください）

(6) 受験票返信用封筒

- ・ 受験票の入る封筒（長形3号）を各自用意してください。
- ・ 封筒の表に返信先を明記し、84円切手を貼付してください。

(7) 小論文

【課題】「介護（教育）実践をする中で、自己の課題を具体的にあげ、どのように解決しようとしているかを述べなさい。」

- ・ 800字以上1,200字以内。
- ・ 小論文の作成は、Microsoft Word®などのワープロソフトを使用してください。
- ・ A4判縦長用紙に横書き、1枚20字×20行（3枚以内）で作成してください。
- ・ 用紙の1枚目上部欄外に氏名、出願課程名（コース）、【課題】を記入してから論述してください。また、2枚目以降にも上部欄外に必ず氏名、出題課程名（コース）を記入してください。
- ・ 用紙の上部に氏名、出願課程名（コース）、【課題】を記入してから論述してください。
- ・ 出願時に、他の出願書類と共に提出してください。

※小論文記載例は、下記実践教育センターホームページを参照してください。

<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/admission/caregiver/>

**令和4年度 教員・教育担当者養成課程 介護コース 出願書類リスト**  
 (太枠内を記入し、出願書類と共に提出してください。)

氏名		センター使用欄 (記入不要)
日中の連絡先 (電話番号)	( )	

**<提出書類・出願資格 確認欄>**

	提出書類	同封確認 (同封した書類に✓)	センター使用欄 (記入不要)
1	入学願書(様式1)		
2	受験票(様式2)・写真票(様式3)		
3	出願資格要件を証明する書類		
4	入学検定料振込証明書		
5	受験票返信用封筒(84円切手貼付)		
6	小論文		
	出願資格	資格確認 (1か2のどちらか、3は①~③の1つに✓)	
1	介護福祉士養成施設において、介護の領域を教授する専任教員を目指す者		
2	施設等の現場で介護教育の実践指導や現任教育を担当している者、または目指す者		
3	①介護福祉士、医師、保健師、助産師、看護師、社会福祉士のいずれかの資格を有し、かつ常勤(週40時間勤務)換算で5年以上の実務経験※を有する者(実務経験年数は令和4年3月末現在(予定)とする) ※1 実務経験の対象となる業務は「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日付け社庶第29号)に示された業務とする。 ※2 介護福祉士、社会福祉士の実務経験は国家資格取得前の実務経験を含む。		
	②大学院、大学、短期大学、高等専門学校において、教授、准教授、助教、講師として、その担当する教育に関し教授する資格を有する者		
	③専修学校の専門課程の教員として、その担当する教育に関し3年以上の経験を有する者(実務経験年数は令和4年3月末現在(予定)とする)		

**<出願者アンケート>**

お手数ですが、次のアンケートにご協力ください。該当する数字に○印をつけてください。(回答内容は、合否には一切関係ありません。)

問 1 当センターをどのようにして知りましたか。

- |                    |                             |
|--------------------|-----------------------------|
| 1 上司に聞いた           | 6 職場等に送付された募集要項やパンフレットを目にして |
| 2 卒業生から聞いた         | 7 その他( )                    |
| 3 「県のたより」等、県の広報を見て |                             |
| 4 雑誌を見て 雑誌名 → ( )  |                             |
| 5 インターネットを見て       |                             |

問 2 当センターを受験希望した理由は、次のどれですか。(複数回答可)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 自宅から近いから              | 7 学習環境・設備が良いと思ったから    |
| 2 入学料・授業料が安いから          | 8 卒業生の感想を聞いて、良いと思ったから |
| 3 開講期間・曜日等が受講しやすいと感じたから | 9 上司に勧められたから          |
| 4 基本理念に共感したから           | 10 その他( )             |
| 5 カリキュラムの内容を見て、良いと思ったから |                       |
| 6 講師が良い・充実していると思ったから    | ご協力ありがとうございました。       |



(様式1)

出願資格にかかる免許・資格 ※該当する資格に○をつけてください。					
介護福祉士	医 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	社会福祉士
実務経験 ※1枚で足りない場合は、コピーしてください。					
勤務形態	期 間		法人・会社名	施設・事業所名	担当職務
常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	年 か月				
非常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	(週 時間程度) 年 か月				
	⇒ (常勤換算) 年 か月				
常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	年 か月				
非常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	(週 時間程度) 年 か月				
	⇒ (常勤換算) 年 か月				
常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	年 か月				
非常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	(週 時間程度) 年 か月				
	⇒ (常勤換算) 年 か月				
常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	年 か月				
非常勤	(西暦) 年 月 ~ 年 月				
	(週 時間程度) 年 か月				
	⇒ (常勤換算) 年 か月				
※実務経験年数 (通算) 年 か月			※ 2022年3月末現在 (予定) まで記入してください。		

※ 出願に必要な実務経験のみ記入してください。実務経験年月数が常勤 (40 時間勤務) 換算で5年以上であることを確認してください。1枚で足りない場合は、コピーしてください。

※ 「実務経験年数 (通算)」は、実務経験年月数の合計を記入してください。実務経験の対象となる業務は「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について」(昭和63年2月12日付社庶第29号厚生省社会局長・厚生省児童家庭局長連名通知)を参照してください。

※ 非常勤の場合の実務経験年数については、常勤 (週40時間勤務) 換算し記入してください。

<常勤換算して経験年数を計算する方法> (小数点以下切り捨て)

例) 週30時間程度で1年6か月 (18か月) 勤務した場合~ $18 \times 0.75$  (30/40)

=13か月 (小数点以下切り捨て) = 1年1か月

(様式2)

令和4年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター  
教員・教育担当者養成課程 介護コース 入学試験受験票

受験番号	
------	--

※ 受験番号欄は記入しないでください。

ふりがな	
氏名	

写真貼付欄	
・上半身脱帽正面向き 縦3cm×横3cm (背景なし)	
・最近3か月以内に撮影	
・写真の裏に氏名を記入してのり付け	
年	月撮影

【試験日】 令和4年1月13日(木)

【集合時間】 午前9時20分

【試験会場】 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター  
(横浜市旭区中尾1-5-1)  
TEL 045-366-5800

\*最寄り駅は、相鉄線・二俣川駅です。

\*敷地内に一般の駐車場はありません。  
障害のある方等で、車での来場が必要な方は出願時に申し出てください。

【持ち物】 受験票・筆記用具

【試験にあたっての注意事項】

- 1 受験者は午前9時20分までに指定された教室に入室してください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めません。
- 2 合格発表は神奈川県立保健福祉大学実践教育センター入口に合格者の受験番号を掲示し、ホームページにも掲載しますので、受験票は試験後も大切に保管してください。

..... (切り取らないでください) .....

(様式3)

令和4年度 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター  
教員・教育担当者養成課程 介護コース 写真票

受験番号	
------	--

※ 受験番号欄は記入しないでください。

ふりがな	
氏名	

写真貼付欄	
・上半身脱帽正面向き 縦3cm×横3cm (背景なし)	
・最近3か月以内に撮影	
・写真の裏に氏名を記入してのり付け	
年	月撮影

受験番号 \_\_\_\_\_

## 勤務証明書

氏 名

生年月日 (西暦)

上記の者は当 

大学院
大学
短期大学
高等専門学校

 において、 

教授
准教授 (助教授)
講師
助教

 として

(西暦) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 から (西暦) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 まで

介護福祉士養成課程の内容に関わる教育に従事しました。

上記相違ないことを証明します。

(西暦) \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

施設名

所在地

施設長名

公印

受験番号 \_\_\_\_\_

## 勤務証明書

氏 名

生年月日（西暦）

### 在職期間

介護福祉士養成課程の教員として（西暦） \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日から

（西暦） \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日までの間に介護福祉士養成課程の内容に

関わる下記科目を担当しました。

担 当 科 目	担 当 期 間（西暦で記入）	
	年 月 ～ 年 月	年 か月
	年 月 ～ 年 月	年 か月
	年 月 ～ 年 月	年 か月
	年 月 ～ 年 月	年 か月
	年 月 ～ 年 月	年 か月
計	年	か月

上記相違ないことを証明します。

（西暦）           年           月           日

施設名

所在地

施設長名

公印

## \*\*\*\*\*入学の手引き\*\*\*\*\*

### 1 入学手続き

- 合格者は、次の期間内に入学手続きを完了しなければ入学できません。  
 [手続期間] 令和4年2月7日(月)～2月21日(月) (消印有効)
- 入学手続きに関する詳細及び必要書類等は合格通知に同封します。
- 入学手続き後、1ヶ月ほどで入学許可書、今後のスケジュール等の案内をお送りします。

### 2 入学金

- 入学手続きの際には、下記の金額の入学金(税込)を納付する必要があります。

神奈川県内在住者(注)	70,100円
神奈川県外在住者	140,200円

(注)「神奈川県内在住者」とは、入学者本人が「入学選考の合格発表の日の1年前の日から引き続き神奈川県内に住所を有する者」をいいます。

- 納付された入学金は返還しません。(誤って二重に納付した場合等を除く)

### 3 入学式(予定)

- 日時: 令和4年4月4日(月) 午後
- 場所: 横須賀芸術劇場(横須賀市本町3-27)

### 4 授業料

- 授業料は入学後、履修登録が終了した後、一括して納付していただきます。
- 授業料は、年間の履修時間数100時間ごとに区分して定められています。教員・教育担当者養成課程 介護コースの履修時間数は402時間(必修のみ)～420時間のため授業料は下表のとおりとなります。

[授業料算出区分(抜粋)]

履修時間数	金額(税込)
401時間 ～ 500時間	101,800円

- 納付された授業料は返還しません。
- 入学金、授業料のほかに、次の費用が必要になります。  
 教科書・テキスト代 約40,000円  
 保険料 5,470円(令和3年度の金額。  
 金額は今後変更となる場合があります。)

このほか、交通費、参考書代、教材費等が必要となる場合があります。

## 5 既修得単位等の認定

- 神奈川県立保健福祉大学実践教育センターで既に修得した科目等について、申請により審査し、履修を免除する制度を導入しています。
- 詳細は、合格通知に同封するお知らせをご覧ください。

## 6 開講時間

午前	1 時限	9:00～10:30	午後	3 時限	13:15～14:45
	2 時限	10:45～12:15		4 時限	15:00～16:30

## 7 その他

- 本コースは、厚生労働大臣が指定する一般教育訓練講座です。教育訓練の内容等に関する事項をまとめた「明示書」は、実践教育センターホームページに掲載しています。  
(<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/admission/benefit/>)
- 学生寮はありません。
- 乗用車、オートバイでの通学は禁止です。なお、実践教育センターは学校教育法に基づく教育機関ではないため、通学定期や実習定期の学生割引は適用外です。
- 遠隔授業の場合、原則として、資料の印刷配布はいたしませんので、必要に応じ、各自で印刷していただくことになります。

## 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 個人情報取扱方針

神奈川県立保健福祉大学実践教育センターでは、神奈川県個人情報保護条例に基づき、個人情報の収集、利用及び提供、管理及び廃棄について、次のように取り扱います。

### ○個人情報とは

「個人情報」とは、個人に関する情報であつて、住所、生年月日その他、特定の個人を識別することができるものをいいます。個人の身体、財産、社会的地位、身分等の属性に関する情報であつても、氏名等と一体となって特定の個人を識別できるものは、「個人情報」にあたります。

また、他の情報と照合することで識別することができる情報も「個人情報」にあたります。

### ○収集の制限

個人情報を収集するにあたっては、目的を明確にしたうえで、必要な範囲内で行うこととします。

### ○利用及び提供の制限

個人情報は、取扱い目的の範囲内で利用又は提供します。法令等の規定に基づく場合や本人の同意がある場合などを除き、取扱い目的以外に利用したり第三者に提供することはありません。

### ○個人情報の管理及び廃棄

収集した個人情報については、漏えい、改ざん等の防止を図り、厳重に管理します。

管理する個人情報については、学外へ持ち出しは行いません。

保存の必要のなくなった個人情報については、確実に、かつ、速やかに消去します。

### ○取扱方針の改善

この個人情報の取扱方針に関して、適宜内容を見直し改善していきます。

### 【入学者選考業務に係る個人情報の取扱いについて】

実践教育センターでは、入学者選考業務に際して出願者から収集した個人情報について、神奈川県個人情報保護条例に基づき、次のとおり取り扱います。

- ①入学者の選考、合否発表及び入学手続等の入学者選考業務を行うために使用します。
- ②合格者入学後の教務関係（学籍管理等）、学生支援関係（授業料免除等）、授業料徴収関係業務のために使用します。
- ③入学試験結果の集計、分析及び入学試験改善等のために使用します。
- ④選考に合格したが入学手続を行わなかった場合又は選考に不合格となった場合は、選考を実施した翌年度の3月31日までにすべて廃棄します。

# ACCESS INFORMATION

## 公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター

〒241-0815 横浜市旭区中尾 1-5-1  
電話 045-366-5800 (代) FAX 045-366-5803

### 交通機関

#### 横浜駅から

相鉄線「二俣川・海老名・湘南台方面」行き、「二俣川」駅下車

#### 海老名駅・大和駅から

相鉄線「二俣川・横浜方面」行き、「二俣川」駅下車

#### 湘南台駅から

相鉄線「二俣川・横浜方面」行き、「二俣川」駅下車

※相鉄線は、「特急」「急行」「快速」「各停」すべての電車が二俣川駅に停車しません。

#### 二俣川駅から

相鉄線「二俣川」駅北口 徒歩 20分

または、「二俣川」駅北口バスターミナル 1 番乗り場から

相鉄バス 旭 23 系統「運転免許センター循環」で「中尾町」下車 徒歩 2分

神奈川県立保健福祉大学

### 実践教育センター

※よこはま看護専門学校と同じ建物です。



- 敷地内に駐車場はありません。
- 体の不自由な方等、車での来校が必要な方は事前にご連絡ください。